

# か け は し

発行；峡南教育事務所地域教育推進担当  
TEL；0556 22 8154

所在地；南巨摩郡鯉沢町771-2  
FAX；0556 22 8144

HPでも見られます：URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-mk/80990243338.htm>

## 山梨の教育について意見を交流

...身延町で一日教育委員会が開催されました

9月13日（水）に身延町中富総合会館で、山梨県教育委員会の一斉教育委員会（教育懇談会）が開かれました。当日は雨天にもかかわらず、峡南地域の各町から100名以上の方が参加されました。山梨県教育委員会からも、5名の教育委員の他に、教育委員会各課の課長など15名が参加しました。



意見を述べる鯉沢町の  
社会教育委員

会では、広瀬教育長の「やまなしの教育基本計画」や主要施策の概要についての説明に引き続き、参加者からの意見交換が行われました。この日は社会教育を担当されている方を中心に5名の方から意見の発表がありました。

意見の内容は、文化創造館や高校人材の有効活用など高校の地域連携の推進について、学力低下や教育基本計画の具体的な内容につい



やまなしの教育基本計画を説明する広瀬教育長

て、多発する青少年犯罪の背景になっている家庭の教育力向上のための具体的な取り組みについて、子供をめぐる一連の事件の背景や学校における相談事業について、県内で進められている高校再編の現状と将来についてなどでした。

## 豊富なデータで中学生をサポート

...下山中で数野先生（身延高）が出前講座開催

9月4日（月）に下山中学校（芦澤真一校長）でおこなわれた保健集會に、身延高校の数野浩司先生が招かれて「見つめなおそう生活リズム～睡眠と朝食を考える」と題した出前講座を実施



しました。

下山中学校では、毎年保健・給食委員が中心になって保健集會を開催しています。今年は「規則正しい生活を送ろう」をテーマに1年生が食事、2年生が睡眠、3年生が運動について、下中学生の実態や自分たちで調べた科学的な背景などについて、寸劇などを交

えて発表を行いました。下中学生の発表を受け、講師の数野先生から朝食の欠食が不定愁訴などを引き起こす具体的なメカニズム、早起きが生体リズムを形成している詳しい仕組みや、欠食を防いだり、早起きが

出来るようになる具体的な方法などについての説明がありました。

数野先生は「今回は、細かなデータを使いながら少し専門的な話をするので、眠くなったら、少しだけ眠ってください」と前置きして話はじめましたが、興味を引くように工夫したスライドや説得力豊かな説明に引き込まれ、生徒たちは話に聞き入っていました。中・高生の中に身に付いた生活習慣は生涯続くもの、「今のうちに、小さな目標を見つけて頑張れば、習慣化出来ます」と先生は話していました。



食事について発表する1年生

...高校人材バンクには、数野先生以外にも多くの分野の高校の先生方が登録されています。是非ご利用ください。

# 熱い思いを力いっぱい訴えました

...中学生交通安全・防犯弁論大会が開催されました

中学生交通安全・防犯弁論大会が、鯉沢地区大会は8月31日に鯉沢中学校、市川地区大会は9月4日に三珠中学校、南部地区大会は9月6日に下山中学校を会場に開かれました。弁士として登壇した中学生たちは、交通安全や防犯のついで自分の熱い思いを力いっぱい訴え、会場の聴衆に感動を与えていました。各大会の優勝者は県大会に参加します。大会での活躍を期待しています。

## 鯉沢地区大会

### 交通の部

- 優勝 石坂幸穂（増穂中2年）「交通安全への強い自覚」  
2位 遠藤真紀（中富中3年）「交通事故に被害者も加害者もない」  
3位 五味瞬士（増穂中3年）「交通ルールは人間を守るためにある～オチリノ事故から」  
芦澤芽衣（鯉沢中3年）「調べて分かった交通安全」  
松本健太郎（早川中3年）「すぐそばにある危険」

### 防犯の部

- 優勝 大塩 遥（増穂中2年）「優しさで変わる人間の心」  
2位 河澄玲奈（増穂中3年）「『生きている』意味」  
3位 北條里穂（鯉沢中3年）「私と私の周り」  
滝川賢也（中富中3年）「身近にできる防犯」  
川村裕子（早川中3年）「大切にしなければならぬもの」

## 市川地区大会

### 交通の部

- 優勝 遠藤幸江（市川南中2年）「目指そう、交通事故ゼロの社会」  
準優勝 石部智弘（下部中2年）「命のあずけ先」  
深沢加奈（三珠中2年）「身近にひそむ大きな危険」  
河西美奈子（市川中1年）「ちょっとした気のゆるみが」  
宮澤萌絵（六郷中2年）「もっと光を」  
有泉早織（久那土中2年）「命を守るために」

### 防犯の部

- 優勝 古屋 茜（三珠中3年）「命にリセットボタンはない」  
準優勝 伊藤千景（久那土中3年）「親子の絆」  
前嶋茂之（市川中2年）「誰でもできること」  
古屋 諒（市川南中3年）「防犯について考える」  
笠井奈緒（六郷中3年）「私にできる自己防衛」  
依田廣真（下部中3年）「豊かな心を目指して」

## 南部地区大会

### 交通の部

- 最優秀 遠藤壮一郎（万沢中1年）「命の重みを感じよう」  
優秀 佐野みな美（下山中2年）「父との約束」  
白滝航平（身延中2年）「一瞬の気のゆるみから」  
若林弘平（南部中2年）「大切な人を守るために」  
佐野 好（富河中2年）「声かけと思いやり」

### 防犯の部

- 最優秀 望月詩織（南部中3年）「厳しさと温かさとのコミュニケーション」  
優秀 佐野航大（万沢中3年）「愛情のバトン」  
井上なつみ（下山中3年）「かけがえのない尊い命」  
藤田紗矢（身延中3年）「先輩達がくれたチャンス」  
清水玲衣（富河中3年）「私はここにいます」



県大会に特別出場枠で参加する秋山さん（増穂中3年）の「私達の車社会とは」

鯉沢地区大会（鯉沢中にて）

南部地区大会で入賞したみなさんと審査員の方々



## 懐かしい学舎はいま

まなびや 廃校跡をたずねて その7 旧下部町2

山間に数多くの集落が点在する旧下部町内に残る学校跡地のうち、前回紹介した古関（ふるせき）中、古関小・中折八（おりはち）分校、三保（みほ）小、久那土（くなど）小道（みち）分校、古関小根子（ねっこ）分校以外を紹介します。

### 【古関（ふるせき）小学校】

古関小学校は明治7年に古関学校として創立されました。明治17年に古関地区の、国道300号線と県道古関・割子線の分岐点近くの傾斜地を造成して校舎が

建てられ、平成13年に閉校して久那土小学校に統合するまで当地にありました。現在、校庭も校舎なども他の用途に転用されることなく、そのままの状態が残っています。





31年築の旧校舎...ほだぎより



80年築の新校舎

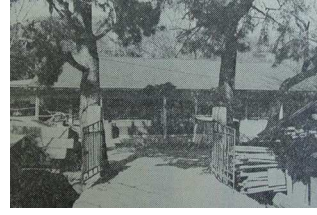
古関小学校校歌  
佐野録郎 作詞  
保坂梅芳 作曲

一、青がき山の ふとこに  
だかれてきた 子守歌  
春 川の音  
秋 みねの風  
歴史のあとも なつかしい  
名も古関の ふるさとよ

二、本栖のうみも しずくから  
ちさい鳥の むねは鳴る  
道 けわしくも  
夢 大空に  
つよくはばたく 日をのぞみ  
しずかに学ぶ さいわいよ

三、すがしい朝の 坂こえて  
通いよりそう この窓辺  
友手をつなげ  
愛深くあれ  
理想を高く 励む庭  
母校よ 古関小学校

現在では校舎も撤去されて更地になっています。正門には分校名の入っている門柱が残っています。



分校の校舎...下部町誌より



校門だけが残る旧校地

### 【下部小学校杉山（すぎやま）分校】

杉山分校は明治19年に富里学校の杉山支校として創立されました。昭和42年に閉校して下部小学校に統合するまで和名場地区の県道栃代・常葉線沿いの山腹にありました。現在、校地はゲートボール場として使われ、コートと休憩所が設置されています。



分校の校舎...下部町誌より



旧校地はゲートボール場に

### 【古関小学校磯（いそ）分校】

磯分校は明治22年に磯簡易小学校が古関尋常小学校に支校として編入されて創立されました。昭和48年に閉校して古関小学校に統合するまで、大磯小磯地区の三沢川沿いの場所にありました。現在、校地には大磯小磯地区公民館が建てられ、校庭は舗装されて駐車場として利用されています。



88年に増築された校舎...ほだぎより

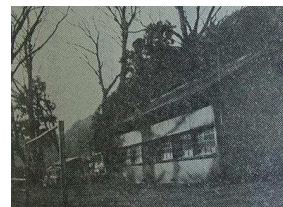


現在の校地

### 【下部小学校長塩（ながしお）分校】

長塩分校は明治7年に北川学校として創立され、明治19年に富里学校の長塩支校と改称されました。北川分校と呼ばれた時期もありましたが、昭和42年に長塩分校として閉校になり下部小学校と統合するまで、長塩地区の長塩山神社に隣接した場所にありました。

現在、校地には長塩地区の公民館が建てられ、校庭の周りに植えられていた桜や椿の木が残っています。



分校の校舎...下部町誌より

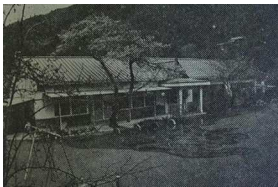


周囲の木々が残る旧校地

### 【下部小学校湯町（ゆまち）分校】

湯町分校は明治19年に富里（とみさと）学校の下部支校として創立されました。昭和41年に閉校して下部小学校（富里小はS0に下部小と改称）と統合するまで、下部地区の県道湯之奥・上之平線善隣橋近くの下部川沿いにありました。

閉校後、集いの館として使われていた校舎は、現在では老朽化が進んで利用されないまま放置されていますが、校庭は温泉街の駐車場として利用されています。



分校校舎...下部町誌より

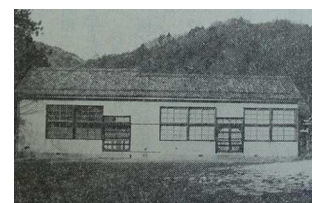


そのまま残っている校舎

### 【下部小学校一色（いっしき）分校】

一色分校は明治6年に田原学校一色支校として創立されました。明治28年共和尋常小学校一色分校として新しい独立校舎が建設されました。

昭和33年の町村合併で共和小から下部小の分校に変わり、昭和39年に閉校になり下部小学校と統合するまで、一色地区の一色川沿いにありました。現在、校舎は補修され初夏に開催される一色ホテル祭りの会場として利用され、校庭もそのままの状態が残っています。



分校の校舎...下部町誌より



ほぼ原型保つ現在の校地

### 【下部小学校高島（たかしま）分校】

高島分校は明治7年に高島学校として創立されました。明治19年に富里学校の高島支校となり、昭和41年に閉校して下部小学校と統合するまで、波高島地区のJ身延線と常葉川にはさまれた場所にありました。閉校後、校地は保育所として利用されていましたが、



# シリーズ 親子で読む本

ふたりはきょうも ともだち 歌の絵本  
手ぶくろを買いに おおはくちょうのそら  
くんちゃんのはじめてのがっこう

6歳後半

## 読書する基礎をつくる六歳の選書 2 ... NPO山梨子ども図書館事務局 長谷川敏夫

多様な分野の物語を楽しむということは表現語彙が増えるばかりでなく、他人とコミュニケーションを交わすうえで大きな必要条件である。年齢差や個性差を上手に埋めていくにはコミュニケーションの力が要求されるからである。近年、この力が消失して小学生段階でさまざまな問題が起きるようになった。やはり、言葉は心も作る重要な要素だと思う。

六歳ともなれば、会話は大人並みになるし、意識も完全に外に向いてくる。自分対社会で人間の関係を捉えることができるようになる。そういう状態になれば、選書も高度なものに移ることができるはずで、六歳後半(就学前)ではいろいろなテーマのものを幅広く与えたい。

例えば、がまくんとかえるくんが登場するシリーズの中の「ふたりはきょうも」(文化出版局)。これは比較的長い話だが、相互の関係、世の中、そこで使われる機知を知るには最適の本である。また逆に短いフレーズで構成されてはいるものの友達というものが

どのようなものであるかを深く考えさせてくれる「ともだち」(小学館)も読んでもらいたい一冊である。もはや文が長い、短いは選書の基準ではなくてくる年齢であることがわかる。



さらに冬季限定?として「くつやのまるちん」(至光社)も薦めたい一冊だ。絶対的な存在を学びにくい日本的な生活環境のなかでは、こういう本は一読しておきたいものである。また、命への思いを強く描いた「おおはくちょうのそら」(リブリオ出版)、少し高度な内容だが不条理について語る「手ぶくろを買いに」(偕成社)なども就学前の冬の夜に読み聞かせたい物語である。

六歳は感受性や理解力が進むので、上記はほんの数例だが、人間の身体の構造、食などの科学絵本「たべもののたび」(童心社)「ちのはなし」(福音館書店)など物語以外の絵本も重要である。

また、すぐれた日本語の修辞技法と感性を知っておくために「歌の絵本」(講談社)を最初のものとしてお薦めする。小さいうちに綺麗な言葉に触れておけば、最近の歌の刺激的な歌詞に抵抗感や拒否感を持つようになるかもしれないからだ。

最後に挙げるのは「くんちゃんのはじめてのがっこう」(ペンギン社)。これは初めて学校に上がる子どもの不安感を払拭する絵本である。「ピーターのおいみち」(講談社)も同じ内容のものでお薦めである。



## 峡南花紀行

ふるさとに咲く花をさがして その14

ナツズイセン(夏水仙) [ヒガンバナ科] 鯉沢町 大法師山

鯉沢の街の西側にある大法師山は、桜の名所100選にも選ばれた桜の名所です。3月下旬から4月上旬、中腹以上は桜色に染まり、この期間



に開催される「大法師さくら祭」には、県内外から数多くの観光客が訪れます。

桜の季節以外に、大法師山を訪ねる人は余り多くありませんが、7月下旬から8月上旬にかけ、中腹にある出世稲荷神社に続く階段の横には、突然姿を現わしたナツズイセンが桜の花とまごうようなきれいな桜色

の花を咲かせます。

ナツズイセンは古い時代に中国からやって来た帰化植物です。彼岸の頃に深紅の花をつけるヒガンバナの仲間ですが、花がきれいなので、庭にも植えられています。



スイセンに似た細長い葉は春先に伸びはじめ、花が咲く夏の頃になると枯れてしまうので、花が突然現れたように見えます。